

イオンモール下田でお手玉遊びを披露

青森県弘前市の「新岡ふみゑさん」が日本のお手玉の会に代わってお手玉を披露してくださいました。

青森県上北郡おいらせ町のイオンモール下田で、「おじいちゃん・おばあちゃん」と遊ぼう〜むかしなつかし遊び大会」が、11月2日(土)から4日(月)まで行われました。おじいちゃん、おばあちゃんが孫に伝えられる昔ながらの遊びを通じて、いつもとは違ったお孫さんとのコミュニケーションの場をつくる...というのがこの行事のねらいです。

今回は、こま回し、けん玉、そしてお手玉が参加しました。お手玉の指導およびパフォーマンス(2日・4日)では、弘前市にお住まいの新岡ふみゑさんが担当されました。たかさんの子どもさんや、おじいちゃん、おばあちゃんも笑顔で参加し、楽しい時間を過ごしていただいたそうです。

新岡さんと日本のお手玉の会との出会いは、4月7日に全国の新聞に掲載された『お手玉遊び全国に広がる〜高齢者と孫世代仲良く〜』の記事がきっかけでした。

記事は、「日本のお手玉の会が設立20周年で、24都道府県に支部を拡大している。『遊びがわかりやすく、孫世代と仲良くできる』と各地のお年寄りを引きつけ、普及を目指す輪が広がった」という内容でした。

大学を退職した後、竹がえし、マリつき、お手玉などの伝承遊びの普及に取り組んでいる新岡さんは、早速、日本のお手玉の会に電話をしてくれました。

今回の件で、東京のイベント会社からの派遣の依頼に、新岡さんをご紹介し、ご協力いただくことができました。今後、新岡さんを中心に、東北の地にお手玉の輪、笑顔の輪が広がることを願っています。



むかしなつかし遊び大会
 けん玉・コマ回し・お手玉の遊びブースを開催。
名人に挑戦コーナー
名人の「ライブパフォーマンス」
 11月2日(土)・3日(日)・4日(月)
 開催場所：青森県上北郡おいらせ町
 イオンモール下田

水引 お守り 商品名「福しやもじ」 商標登録・意匠登録取得 地元の名産で東京五輪のお土産を提案

信州おしなごの会会長の篠田敬子さんが、7年後の東京オリンピックに向けて、地元飯田市名産の絹巻水引で作ったお守り「福しやもじ」を、お土産にと提案しています。

篠田さん考案のお守り「福しやもじ」は、一生「食」にご縁がありますように、また、福が授かりますように、という願いが込められているそうです。

お守りの「福しやもじ」は、すでに商標登録、意匠登録済みで、篠田さんは、お手玉などと一緒にご一緒に、東京オリンピックのお土産として販売できればと、夢を描いています。

篠田さんが絹巻水引の「福しやもじ」を考案

商標登録・意匠登録取得

水引 お守り 福しやもじ

水引 お守り 福しやもじ

2020年 東京オリンピック

信州おしなごの会

商標登録・意匠登録取得